



東小だより

学校教育目標 「心豊かに自立する子を育てる」

東小マナー ～え・ほ・し・い・わ～

11月号

令和6年10月31日

茅ヶ崎市立東海岸小学校

校長 柴田 貴行

●運動会に来校ありがとうございました

運動会当日の天気は曇りで、風が吹くとやや涼しい気候の中で、児童は運動会スローガン「あきらめない心 力を出し切る運動会」のもと各種目に臨みました。

今年の特徴としては、団体競技に取り組んだ学年のなかで運動会当日の順位だけでなく、練習時のタイムや結果との比較を通して、自分たちのチームの「成長」を目指すとともに、ライバルは他のチームだけでなく過去の自分たち自身という意識ももって取り組んだことです。

表現は当日までの習得に時間がかかる場合があるため、教師やダンス実行委員等に一旦教わったあとで、児童が自発的に練習をしたケースもみられました。

保護者の皆様、地域の皆様の応援が子どもたちの力となりました。ご声援ありがとうございました。

●学校そばの歩道の歩き方

今年も後期の開始に合わせて、第一中学校～東海岸小学校までの歩道の歩き方について指導を行っています。東海岸小学校の児童は、登校時も下校時も、歩道の中央より海側（学校側）を、第一中学校生徒は道路側を歩くというものです。特に登校時に東海岸小学校の児童が歩道いっぱい歩いてしまうと、第一中学校生徒がゆずってくれた結果、車道に降りて歩くことになってしまう状況がみられるためです。お子様に付き添って歩かれる保護者の方も、お子様とともに歩道の海側を歩くことにご協力をお願いいたします。

●心のバリアフリー教室

4年生が総合的な学習で茅ヶ崎市役所都市政策課が行っている事業に申し込み、当選し取り組んでいます。この事業は、いわゆる障がい体験ではなく、目で見ただけではわからない様々なハンディキャップ等をもっている方や事情があって困っている方々にも、やさしく接することができる街茅ヶ崎にしたいという主旨の授業です。

今回は、障がいをもった方と知り合いになった上で、その方と一緒に活動できるゲームを考案して実践するということがテーマでした。

輪投げやボウリング等を参考に工夫を採り入れることで、比較的原型に近い形式でも楽しめるタイプのものから、床をマス目に見立てて、縦横4方向にしか移動できない「逃げ子」を、斜めも含めた8方向に移動できる「鬼」が、手を叩く合図を目印に同時に移動しながら追い詰めていくゲーム等様々で、一緒に取り組む方のことを考えた工夫がみられました。

10月17日には、心のバリアフリー教室参観を兼ねて、本校が茅ヶ崎市総合教育会議の会場となったこともあり、茅ヶ崎市長様、市教育委員様をはじめ市教育委員会各課の方々が来校し、4年生の取り組みを参観されました。

10月末には、今後自分たちができることは何かを考える学習も行いました。

●湘南ベルマーレSDGs教育プログラム「サステナトレセン」プロジェクト

5年生を対象に、子どもたちが持続可能な社会づくりに向けた知識と意識を深めることを目的に、地域とのつながりを通じて未来を創る力を育むことを目指して取り組んでいます。市内2校で取り組んでおり、今回は4つの関連企業等の前で児童がSDGsに関わるアイデアを発表し、その後発表を聞いた大人たちからのフィードバックが行われました。